

令和元年度

# くすのき

～高道小学校だより～

No. 7



運動場のくすのき

学校教育目標

郷土に誇りをもち

夢に向かって挑戦する児童の育成

高道小ホームページ 日々更新中  
<https://es.higo.ed.jp/takamiti/>

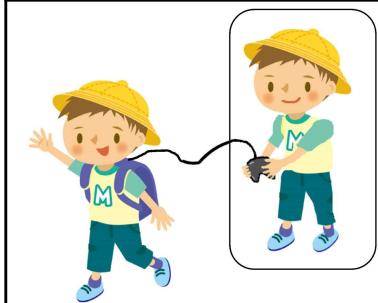
令和元年9月2日 文責 上田

## ●始まりの会を行いました "コントローラーの話"

夏休み中も全国ではいろいろな事件・事故が相次ぐ中、高道小学校の全児童が無事に過ごせたことを本当に有り難く思います。各ご家庭でも様々に配慮されたことだと思います。

さて、以前であれば2学期の始業式のところですが、現在は前期の途中なので、再び学校が始まるということで「始まりの会」を実施しました。

夏休み前の「終わりの会」でも、今回の「始まりの会」でも全児童に話したことですが、ゲームのコントローラーを上手に扱うことよりも、一人一人が自分のコントローラーを上手に使いこなせるようになることがずっと大切です。再開した学校生活でも、「自分のコントローラー」をうまく使いこなせる人になろうと伝えました。



## ●さらにバージョンアップ高道小

この学校だよりでも度々お伝えしていますが、高道小学校は、あいさつなどの生活態度、学習態度などとてもいい状態で夏休みに入りました。

これからも児童と職員のみんなで、さらに明るく元気な学校にしていきたいと考えています。そこでそのシンボル的取組を「始まりの会」で児童に提案しました。それは、「トイレのスリッパをいれる木の枠をなくしてしまおう。」というもの

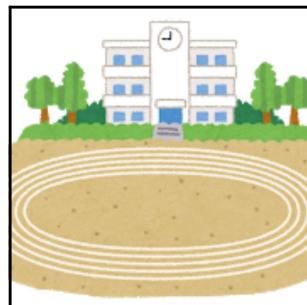


す。「たくさんのお客様に褒めていただいている高道小の児童なら、このような枠はなくともスリッパは並ぶはず！」それが私の想いでした。児童はだまって聞いていましたが、中には静かにうなずいている子も何人もいました。

現在は、木の枠はありませんが、私が思った通り、どこのトイレもスリッパがきちんときれいに並んでいます。やっぱり「高道の心」を持った子供たちです。うれしいスタートとなりました。

## ●ルール・マナーを守る 「我慢する心」

夏休みの終わり頃からずっと雨が続きましたね。児童たちも元気がたまっていて、運動場で遊びたそうです。雨が降ってなければ運動場で遊ばせたいのは山々ですが、地面が緩くなっているときは、滑って危険なだけでなく運動場に足跡が残ってしまいます。するとそこに水がたまっています乾きが遅くなるし、足跡が乾くと凸凹が残って危なくなってしまいます。そのようなことからしばらくは運動場が使えない状態でした。



先日の昼休み、雨が降っていないのを見て、運動場に遊びに出てきた男子のグループがいましたが、「今日は運動場は使えません。」という放送が入ると、とても残念そうに運動場を眺めしていました。遊びたい気持ちをぐっとこらえ、しばらくすると引き上げていきました。その”我慢する様子”を見てとてもいい勉強をしているなあと思いました。全体のことを考えて自分の思いをおさえ、我慢することとても大切なことだと思います。



8月29日のNHK「クローズアップ現代」という番組で、日本全国にある大きな花火大会

がどんどん中止になっているという話がありました。観客のマナーが悪く、以前よりも警備に倍の費用がかかるようになっただけでなく、警備員の指示を守らない客、ゴミを散らして帰る観客などが後を絶たなくなつたからだそうです。

日本の素晴らしい伝統が、今の日本人によって失われていくというのは悲しいことだし、情けないことです。子供たちにそんな日本を残したくないと思いました。